おざ式

あかせがわ原平

これはマンガではない。マンガなどまだかいてもいないのに、再三、再四、ガロ次号予告の中で予告をされてしまった筆者が、その真実の事情をありのままに語った、予告に関するたんなる説明書である。

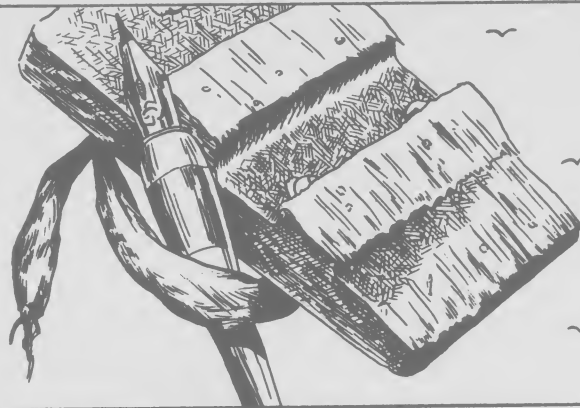
昭和12年、横浜市に生まれる。武蔵野美術学校中退。デビュー作「お座敷」('70・6月号)。代表作「虚構の神々」。主著「櫻画報大全」。現在「写真時代」に「超芸術」を連載中。

まさか
こんなに
予告される
とは
思わなかった

ぼくは
たまたま
ガロの
ミナミ君に
まアそのうち
かきますヨ
といった
だけなのだ

ぼくは
予告多量で
読者にうらまれる
かもしれない
一刻も早く
マンガをかか
なければ
ならないのだ

月刊漫画 ガロ 10月号

青林堂

またまた面白い新人が湧いてくるのを楽しみに待ってます。

少しでも
ずれたり
すると
たちまち読者に
バカにされて
しまうのだ

もしもし
マンガをかくには
どうすれば
いいのですか

ぼくは
しょうが
なしに
マンガを
かこうと
している
のです

すると
お前さまは
マンガを
かこうと
している
のだね

あなたに義侠心というものがあるならぼくのマンガをかいて下さい

なるほどきみの言わんとする意味がだいたい見当がつきました

ねッ
おしえて下さい
こんなマンガ
どうやってかけば
いいのですか！

そうだこれでも
読みかえしてみれば
けっこうマンガに
なっているのかも
しれない

おお
そうじゃ

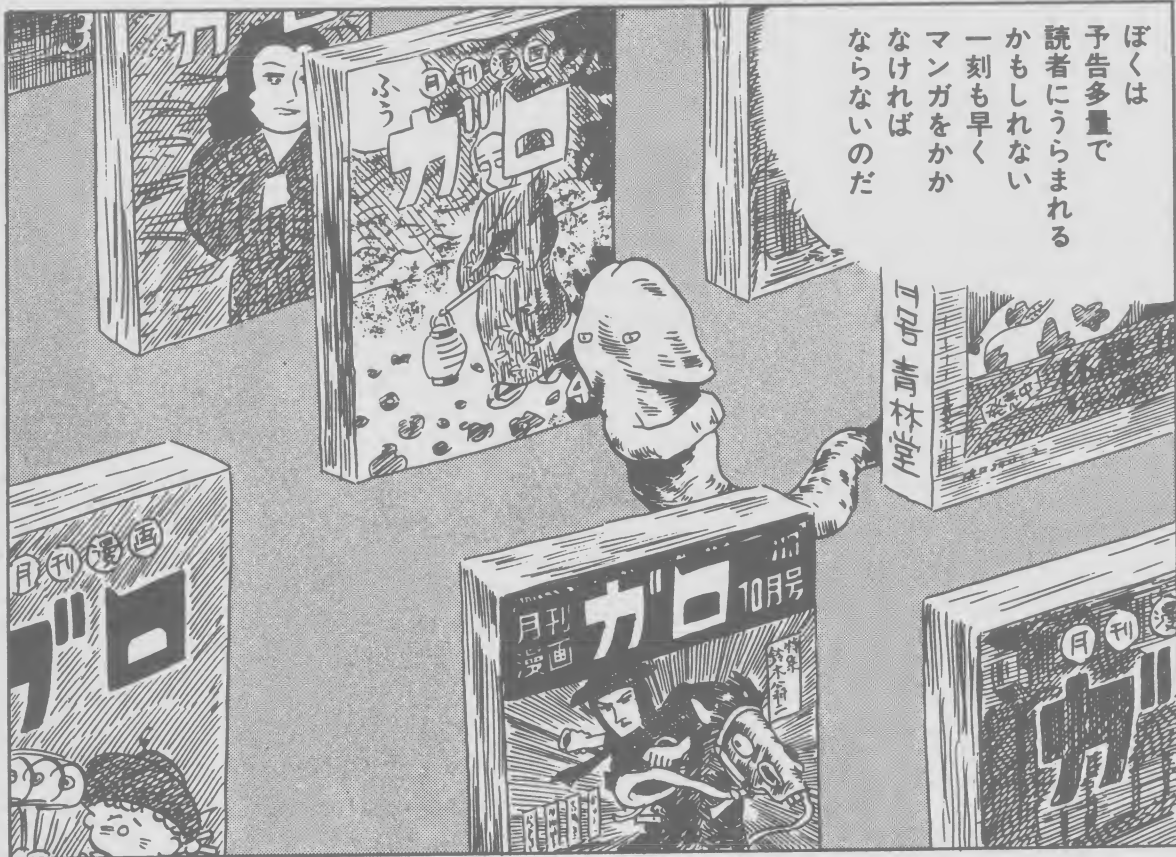
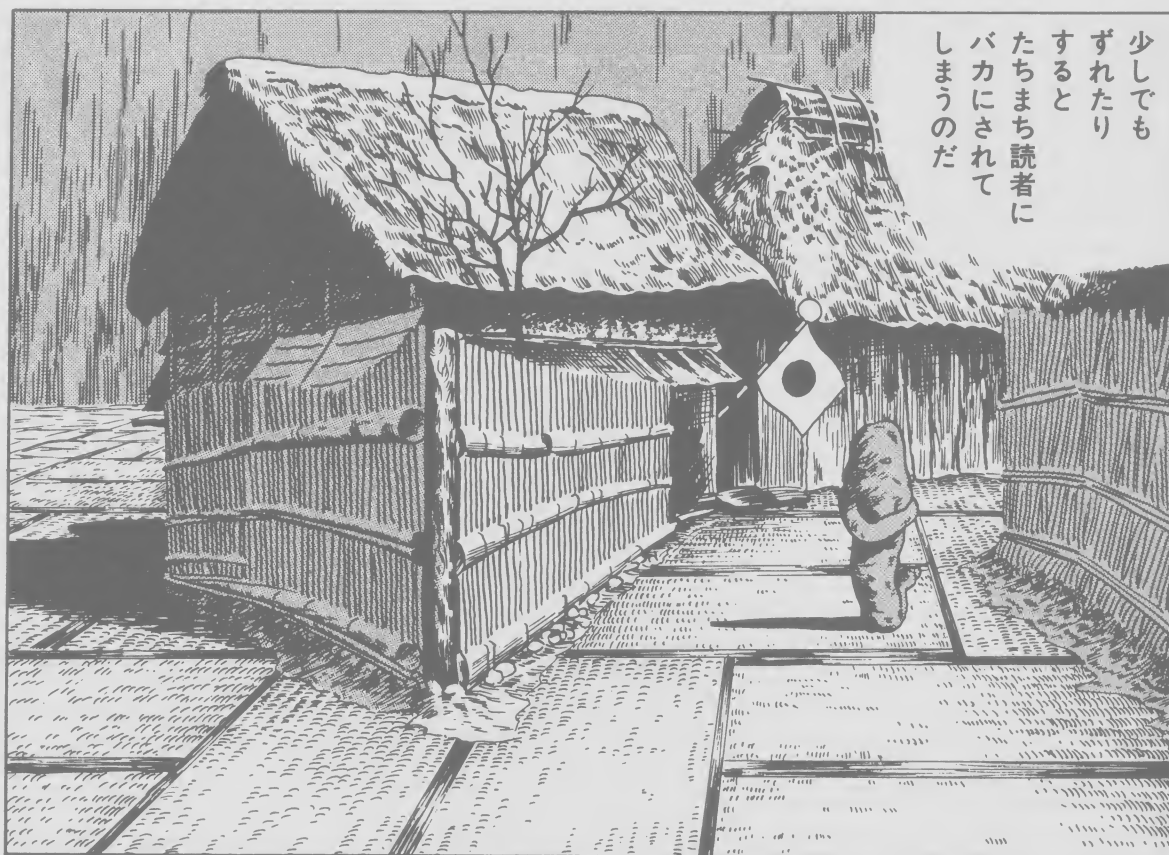
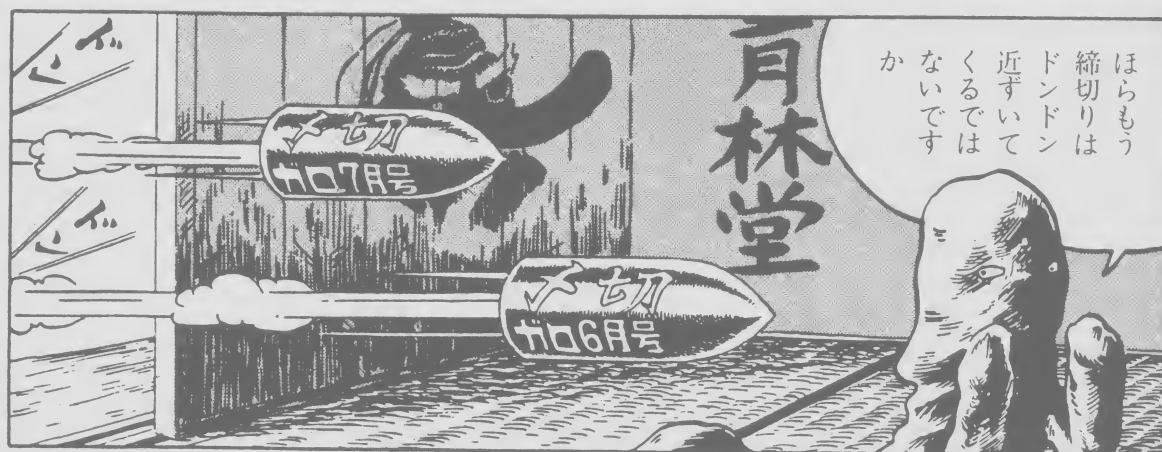
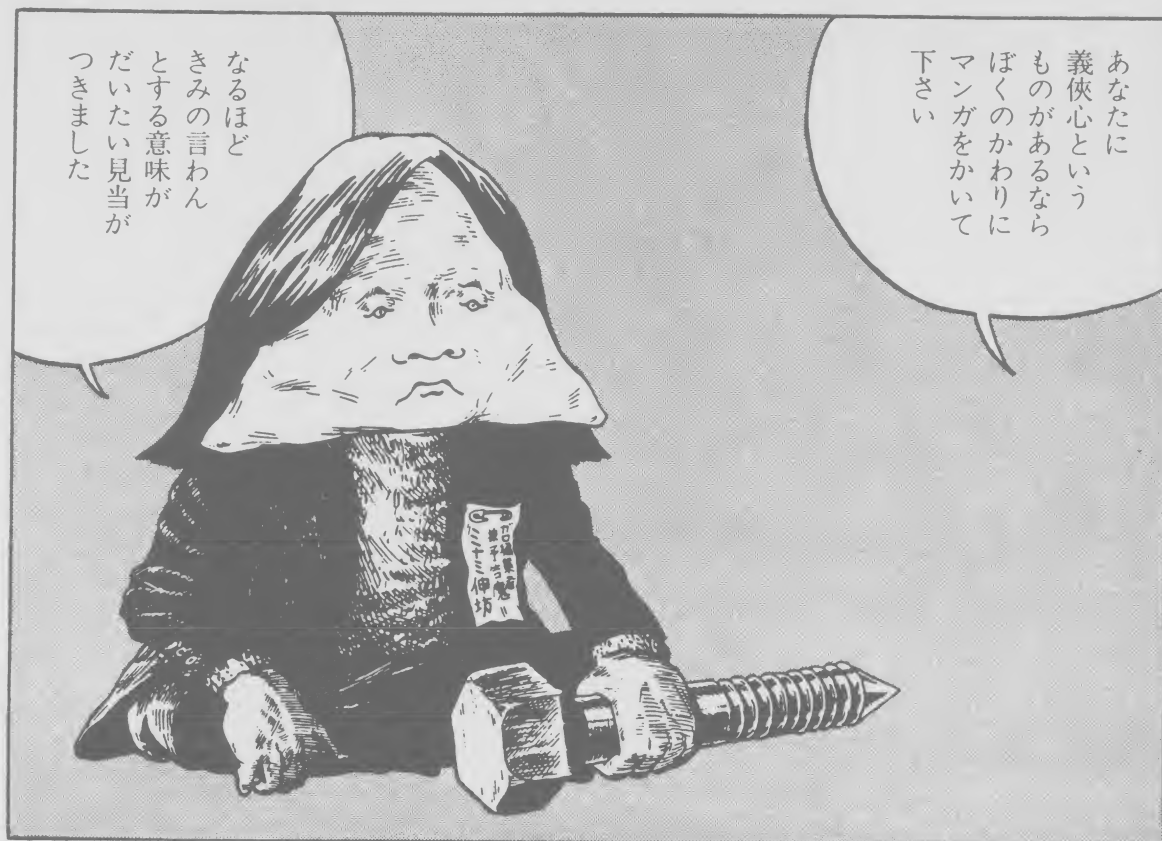
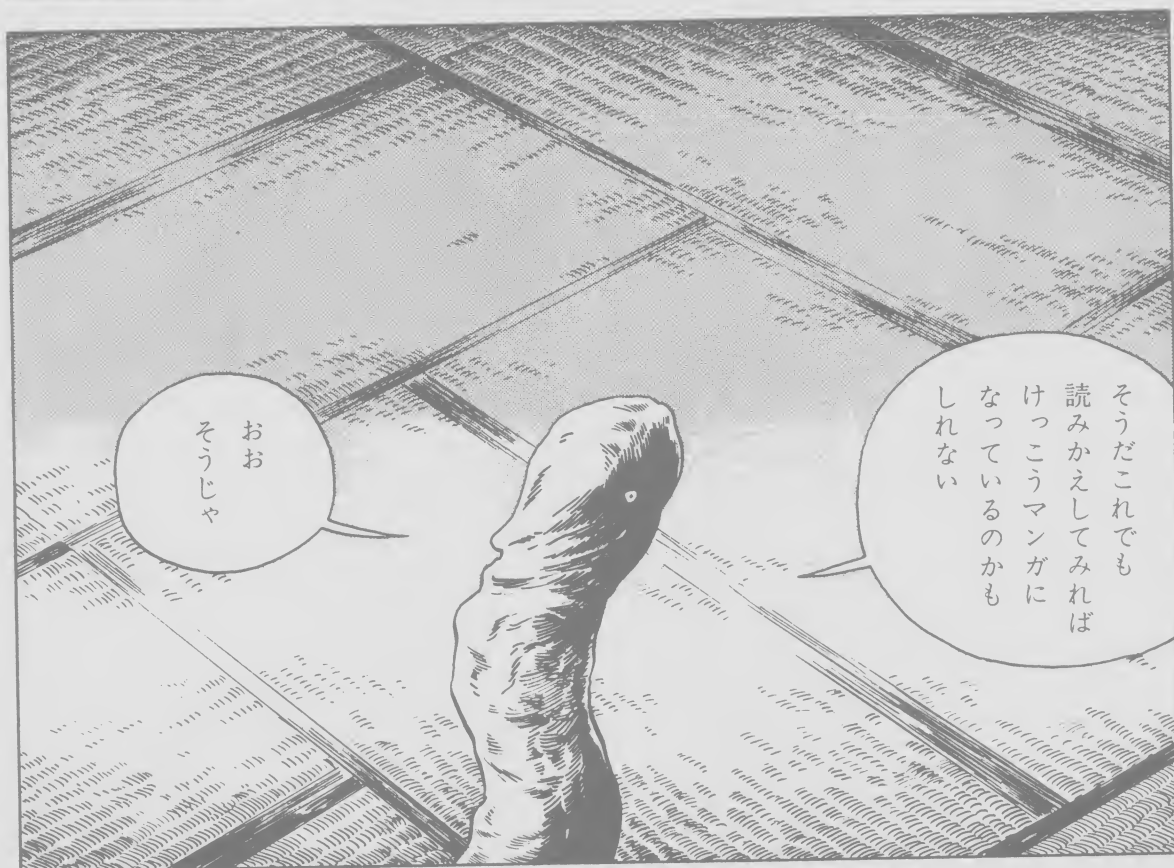
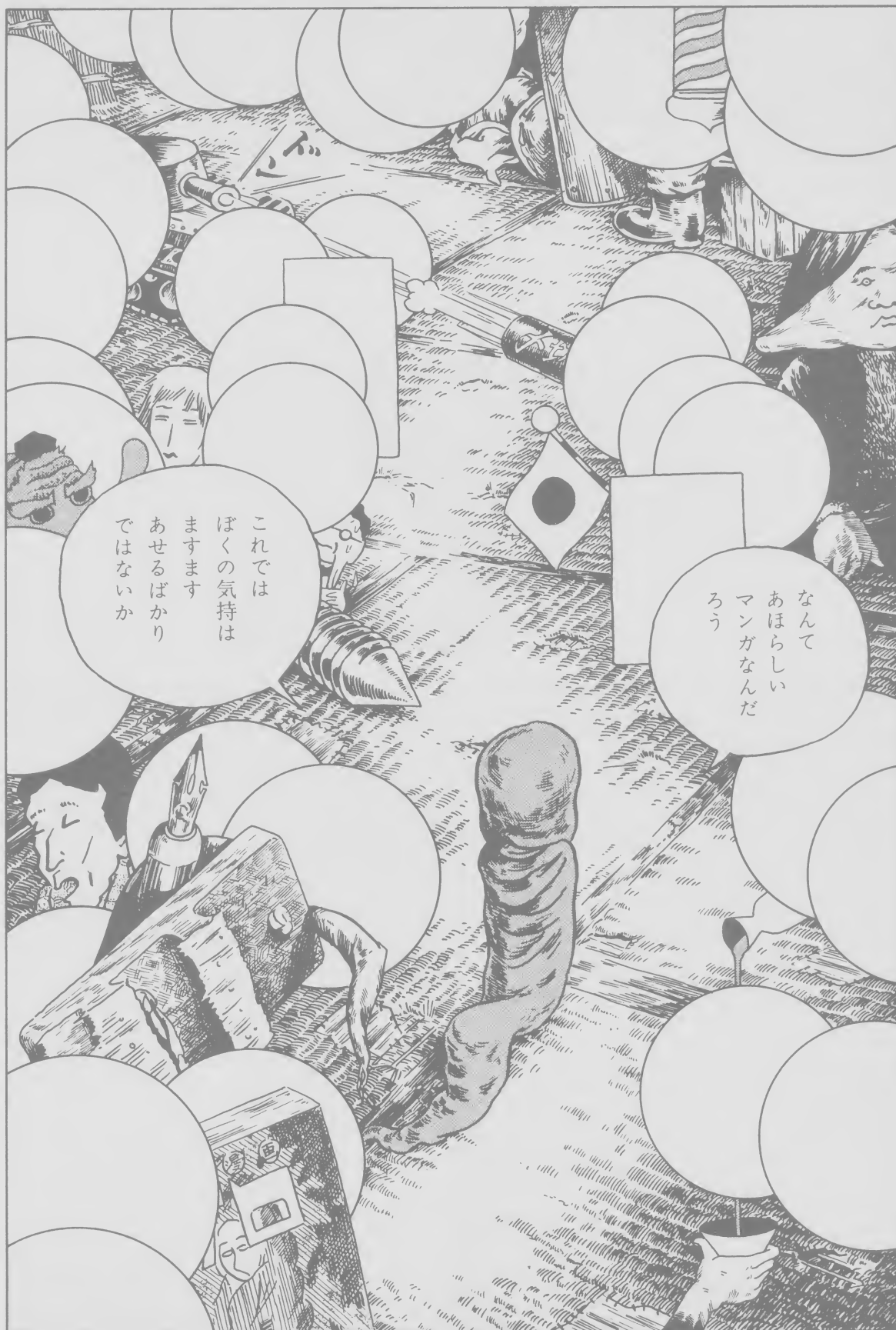
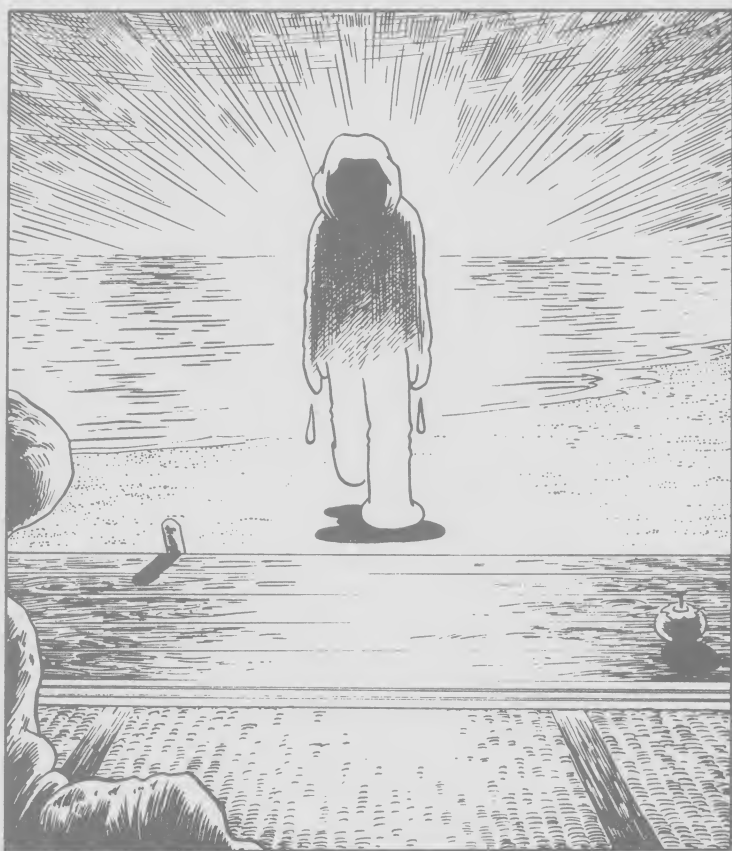
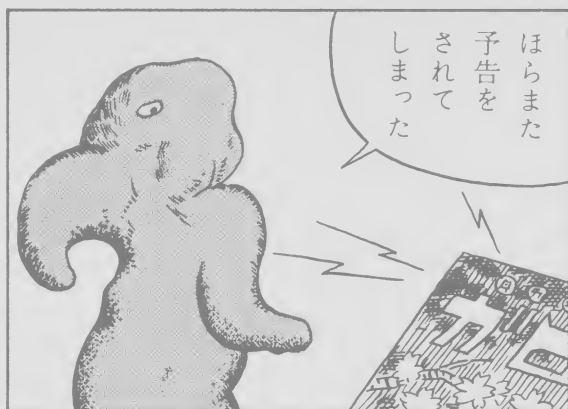
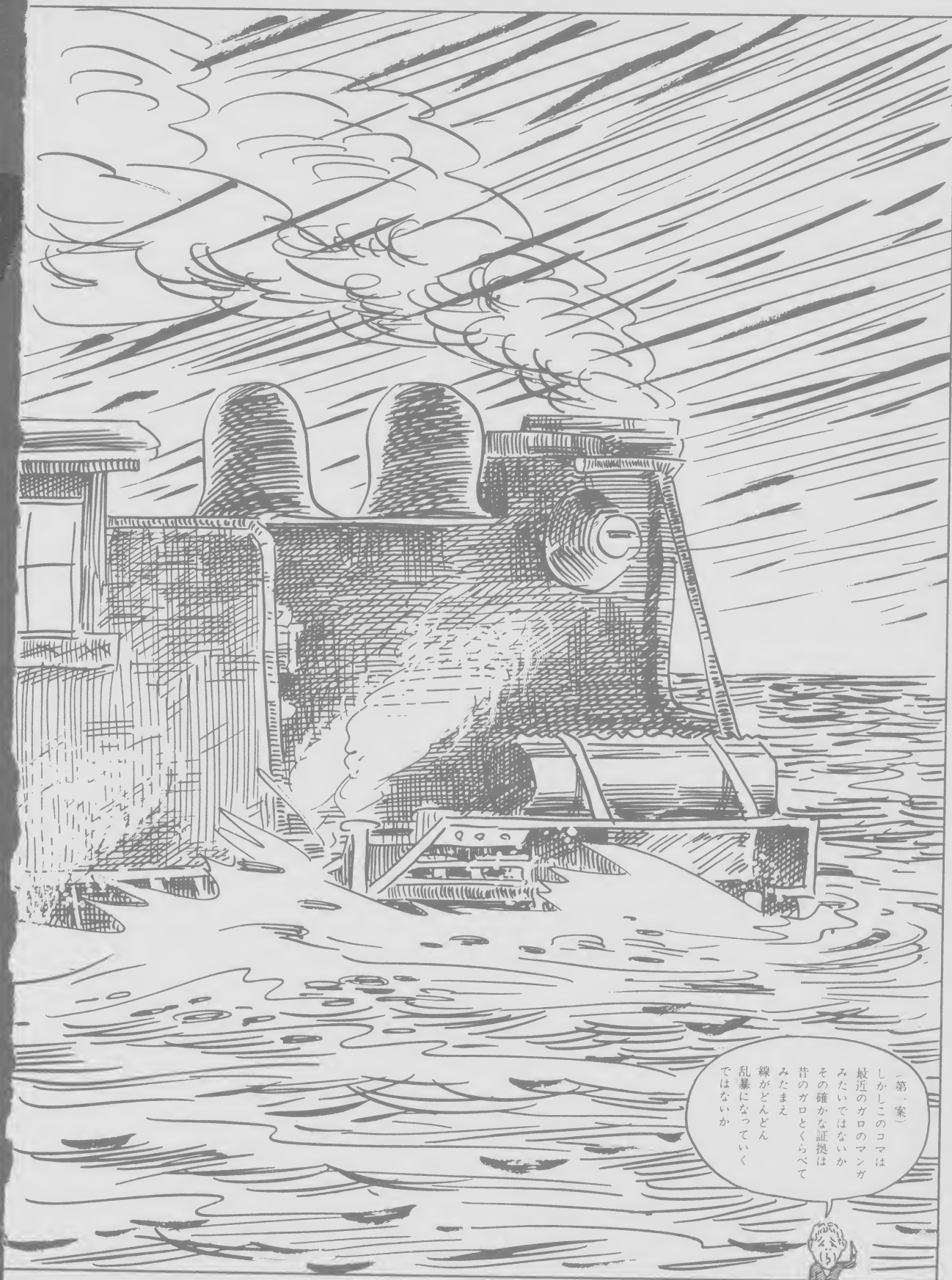
なんて
あほらしい
マンガなんだ
ろう
これでは
ぼくの気持は
ますます
あせるばかり
ではないか

ほらまた
予告を
されて
しまった

ぼくの
ペン先は
錆びかけて
いるんだ

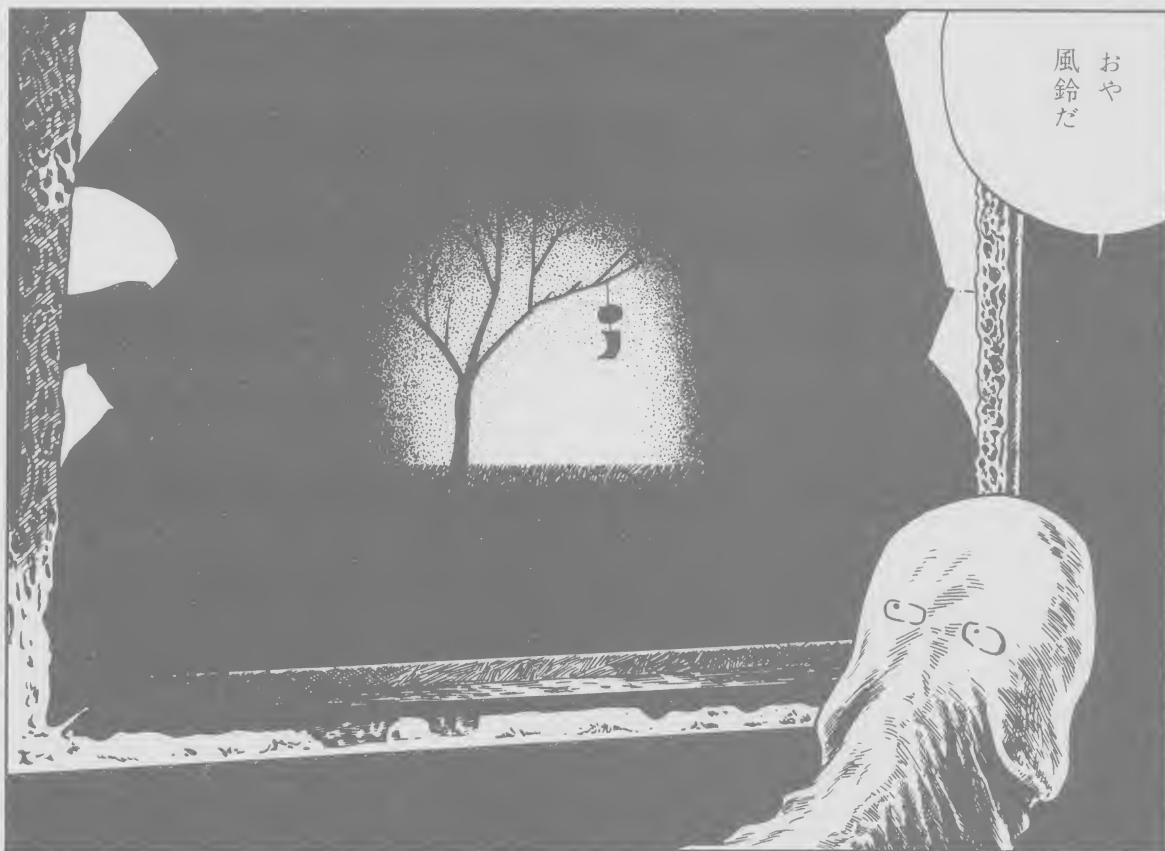
やあちょうど
よいときに
きてくれた
このマンガの
つづきを
かいてくれ

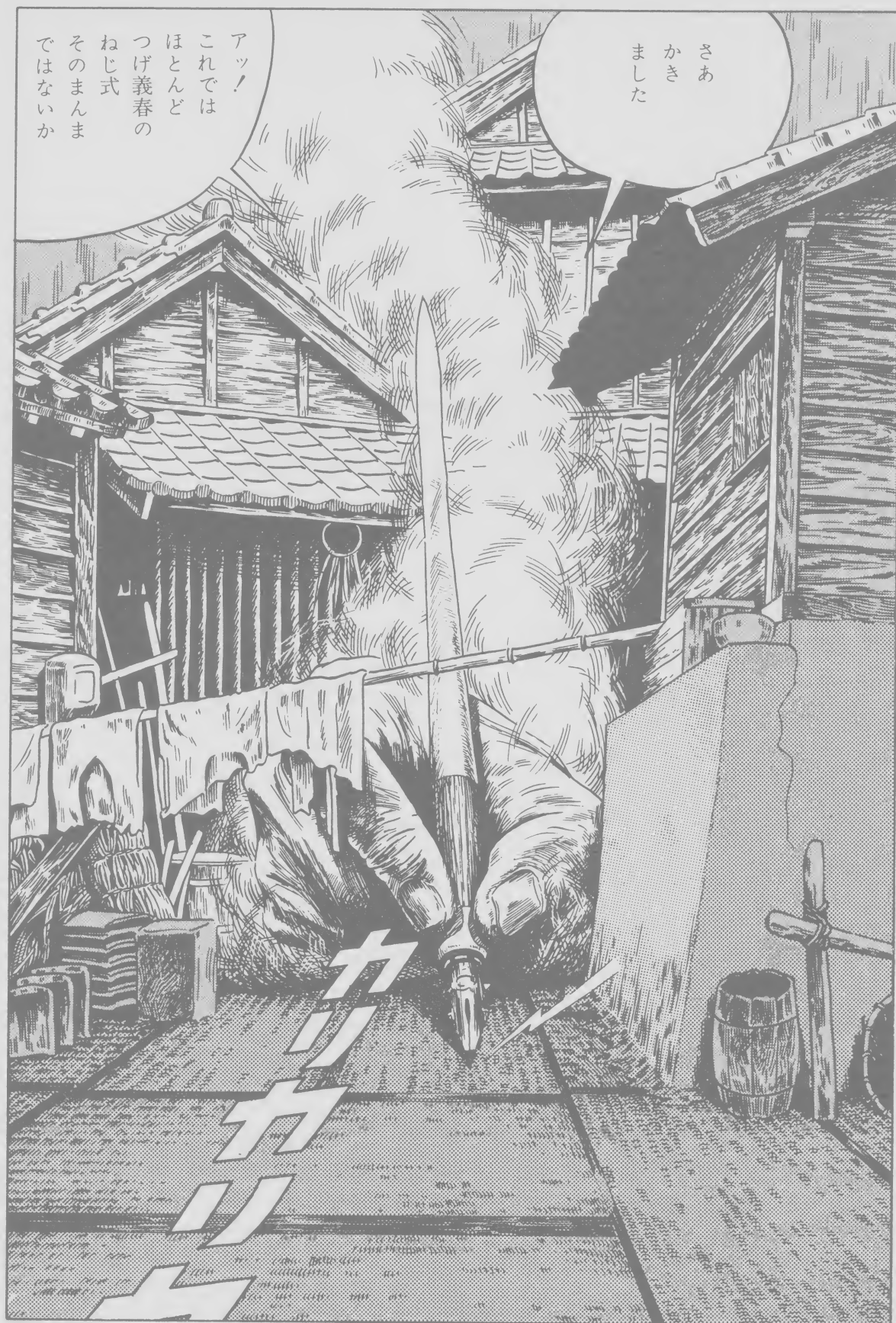
はい

サラ
サラ
サラ

（第一案）
しかしこのコマは最近のガロのマンガみたいではないかその確かな証拠は昔のガロとくらべてみたまえ線がどんどん乱暴になっていくではないか

（第二案）しかしこのマンガはたんなるパロディではないか
その確かな証拠は作者の名前を見たまえどんどんしらけていくではないか
結局第二案を採用します
ぼく

目をとじなさい そうすれば パロディではない ような気持に なるでしょう
こういう 方法は 桜画報で ちゃんと教えている ではありませんか
カリカリ

そうだっけ ぼくは堂々と しなければ いけないのだ…… きみは へのへのもへの のくせに 命の恩人だ

おや 風鈴だ

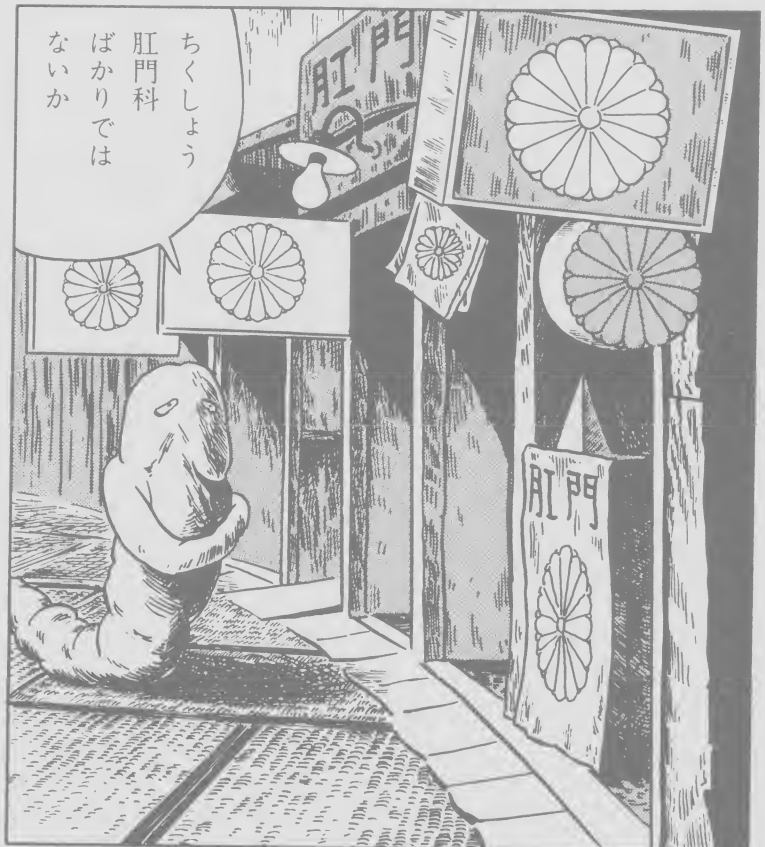
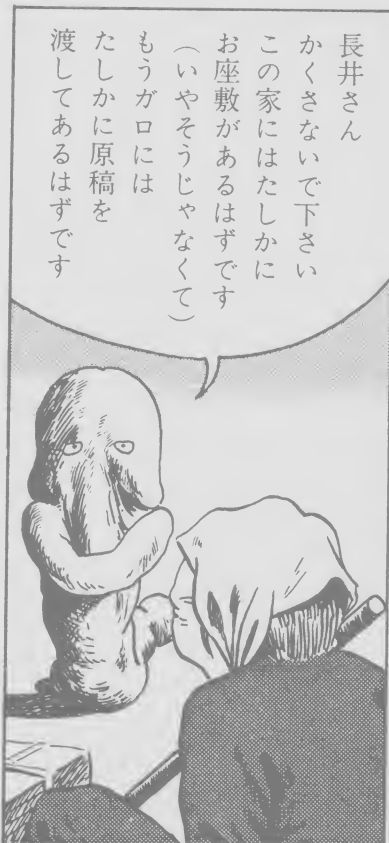
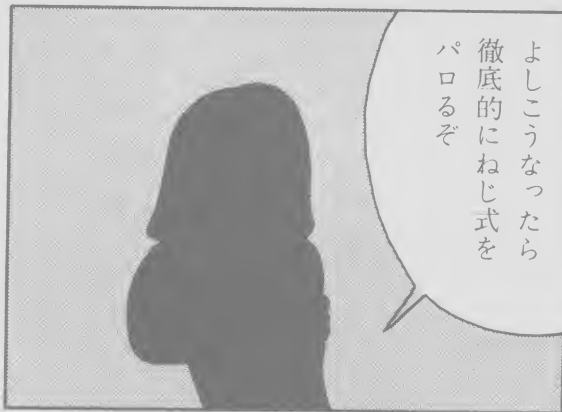
風鈴という随筆は 現代評論社発行の 赤瀬川原平著 「追放された野次馬」 一七六ページに のっている
この 随筆は ひと目 諸君に 読んで もらいたい

さあ かき ました
アッ! これでは ほとんど つげ義春の ねじ式 そのまんま ではないか
カリカリ

ああ
ぼくはなんて
時期おくれの
パロディを
かいてしまった
のだろう

よしこうなったら
徹底的にねじ式を
パロるぞ

いや
この場合は
おざ式と
いうのが
正しい題名
だった

ちくしょう
肛門科
ばかりでは
ないか
肛門
肛門

長井さん
かくさないで下さい
この家にはたしかに
お座敷があるはずです
（いやそうじゃなくて）
もうガロには
たしかに原稿を
渡してあるはずです

どんな原稿
だったかね
月刊漫画ガロ
粉砕本
青林堂
ねじ式のようなのです
二十三ページは
絶対必要なのです
そして………
お座敷のよう
なのだったら
なお好都合
なのです
ガロ
青林堂
するといま
読んでいる
このおざ式
のことだね
(話は
違うけど
長井さん
儲かりま
せんネ)

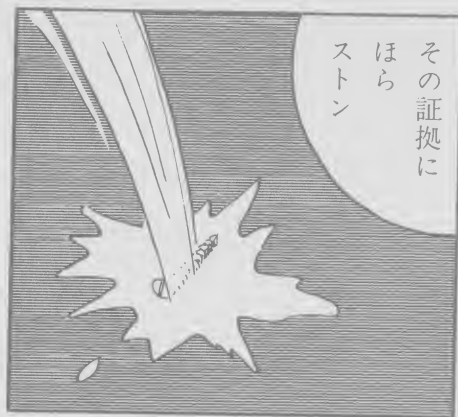
ところで
このマンガは
ねじ式の
製法特許で
かいている
ものでしょう

たしかにねじ式は
新機軸です
だけどもう
このパロディは
皆が考えて
いるのです
ギクッ

そんなこと
いったら
長井さん
ぼくは
かきようがない
ではないですか

ねッ
じつは
どうなん
ですか
パロディなんか
くだらないと
いうのでしょう

ちがう、ちがう
これには
深ーいわけが
あるのです
…………
シクッ
シクシク
どんな
わけです
教えて下さい

それには
ねじ式の
内容を
説明しなけ
ればなら
ないのです
けれど
それは
できない
相談です
なるほど
それでは
ききますまい

おざ式の秘密は
きっとこの
お座敷の畳の
デザインにある
のでしょう
その通り
です
おざ式では
あっても
よーく見ると
実はねじ式
なのです

その証拠に
ほら
ストン

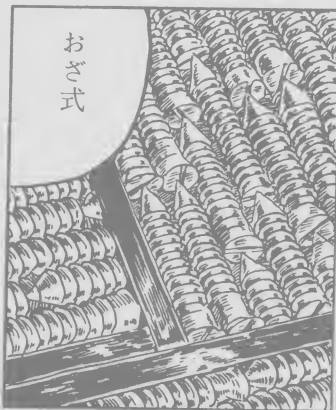
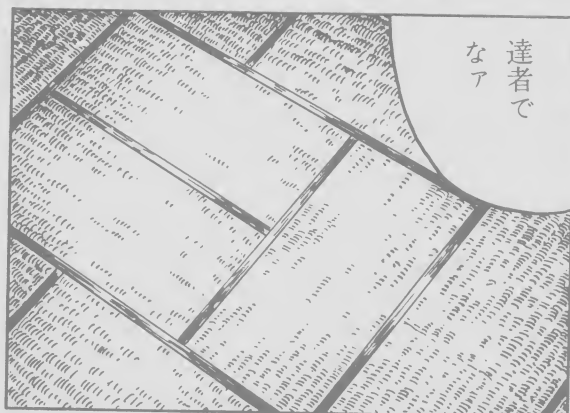
ねじ式

なるほど
ストン
ストン

おざ式

(アップで
見ると)
ねじ式

では
ごきげん
よう

達者で
なァ

でも 考えてみれば それほど 予告をおそれる ことも なかったん だな

酔っぱらっていく アホらしさと 比べたら

別に どうってこと ないんだから ノヤロウ んだらァ

先生！

このマンガの締めくくりをかいて下さい

GENTIEMAN

LADY

GENTLMAN

DY

コンコン

ここはチ○ポコのくる所ではありません私はオマ○コですもの

お願いです
そんなオマ○コ
なんてこと
いっている場合
ではないの
です
ぼくは読者に
うらまれるかも
しれないの
ですよ

わかりました
ではこのマ○ガの
締めくくりを
かいてあげ
ます

ちょっと待って下さいスジも考えずにマ○ガをかくのですか
そんな無茶なっ
あなたはテキトウな人ですね
カリ
カリ

どうやらかき上がったようです

このおざ式は締切りまでヒトに見せないで下さい予告されてしまいますから
ふらふらも〜

あなたはイロイロの才能があるんですね

これは四十八手のうちの二十三手までを応用したものです

とかなんとかいいながら
毎月締切りが近づくと
ぼくはまだマンガなんか
かいてもいないのに
強引に予告される
ように
なったのです

月刊ガロ1973年７月号掲載